

## 情報公開文書

課題名 : 脳定位照射における患者 QA 妥当性の検討  
研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2026年6月30日  
研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

### 1. 研究の対象

2024年1月4日～2026年1月31日に当院で脳定位照射を実施した患者

### 2. 研究目的・方法

転移性脳腫瘍などに対して行う「脳定位照射」は、通常の放射線治療よりも非常に小さな範囲に高い精度で放射線を当てる照射法です。そのため、計画した放射線の量が正しく目的部位に照射されているかを確認する「線量検証」がとても重要ですが、照射する範囲が非常に小さいため、その確認は容易ではありません。そこで本研究では、当院で保有している「電離箱線量計」という放射線量を測定する機器が、このような小さな照射範囲の線量検証に適しているかを調べることを目的としています。

研究ではまず基礎的な検討として、放射線治療装置から出る放射線(6X-FFF および 10X-FFF)を用い、照射する範囲を 10×10cm から 0.8×0.8cm まで段階的に小さく変えながら照射を行います。そして、治療計画装置が計算した放射線量と、電離箱線量計で実際に測定した放射線量を比較します。

さらに臨床的な検討として、当院で脳定位照射を受けた患者さんの治療計画データのうち 60 部位を対象に、治療計画された標的の大きさ(PTV volume)に対して、治療計画装置の計算線量と電離箱線量計による測定線量を比較します。また同じ 60 部位 について、計画した放射線の分布と実際に照射した放射線の分布がどのくらい一致するか評価する解析(ガンマ解析)との関係についても調べます。

これらの検討により、安全で精度の高い放射線治療の提供につなげることを目指しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 脳定位照射プラン作成に使用した計画用 CT 画像 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

### 6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者である大石健太が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

(様式4)

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 診療放射線技術科 大石健太(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)